平成25年12月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年５月13日

上場会社名	日本エマージェンシーアシスタンス株式会社		上場取引所　・大
コード番号	6063	ＵＲＬ　http://emergency.co.jp/	
代表者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）吉田　一正	
問合せ先責任者	（役職名）常務取締役	（氏名）前川　義和	ＴＥＬ　03-3811-8121
四半期報告書提出予定日	平成25年５月14日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無：　有

四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨）

１．平成25年12月期第１四半期の連結業績（平成25年１月１日～平成25年３月31日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第１四半期	548	△1.0	20	△61.1	18	△65.8	11	△63.6
24年12月期第１四半期	553	―	53	―	53	―	31	―

（注）包括利益　25年12月期第１四半期　25百万円（△34.7%）　24年12月期第１四半期　38百万円（―%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第１四半期	9.70	9.34
24年12月期第１四半期	30.62	―

（注）平成24年12月期第１四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため平成24年12月期第１四半期にかかる対前年同四半期増減率については記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第１四半期	1,332	584	43.8	489.18
24年12月期	1,052	557	53.0	468.93

（参考）自己資本　25年12月期第１四半期　584百万円　24年12月期　557百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	―	0.00	―	0.00	0.00
25年12月期	―				
25年12月期（予想）		0.00	―	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成25年12月期の連結業績予想（平成25年１月１日～平成25年12月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	1,050	6.2	55	△8.0	47	11.2	29	15.5	25.05
通期	2,082	10.0	165	12.0	155	20.3	95	26.0	79.96

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　有

詳細は、添付資料P. ２「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（１）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　有
② ①以外の会計方針の変更　：　無
③ 会計上の見積りの変更　：　有
④ 修正再表示　：　無

「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規制」第10条の５に該当するものであります。詳細は、添付資料P. ２「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期１Ｑ	1,194,200株	24年12月期	1,189,400株
② 期末自己株式数	25年12月期１Ｑ	74株	24年12月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期１Ｑ	1,192,311株	24年12月期１Ｑ	1,038,000株

（注）当社は、平成24年3月23日付で普通株式１株につき400株の割合で株式分割を行いましたが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. １「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

（株式分割）

・平成24年３月23日付で普通株式１株につき400株の割合で株式分割を実施しております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 1
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 1
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 1
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 1
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 2
（１）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 2
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 2
３．四半期連結財務諸表 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7
（５）セグメント情報等 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年の政権交代後の経済政策による円安を背景とした株式相場上昇などにより、景気回復の兆しが見られてきました。

当社グループの主要事業の業績に影響を与える海外出国者数につきましては、1月は1,364千人（前年同月比2.5%増）であったものの、円安の影響等により海外旅行者数が2月以降は減少しました。２月は1,427千人（前年同月比9.3%減）、3月は1,652千人（前年同月比4.9%減）となっております（日本政府観光局（JNTO）調べ、1.2.3月ともに推計値）。

そのような状況の中、当第１四半期連結累計期間の売上高に関しては548百万円で前年とほぼ同様となりました。費用に関しては、昨年10月にタイセンターの24時間化を図ったことで、オペレーション費用が増加いたしました。当社の従来予測より円安が進行した影響で、海外センターに対する経費支払い額が増加いたしました。また、将来の成長分野として捉えている国際医療支援事業分野は、依然として投資先行の状況にあります。以上の要因から、売上原価は434百万円（前年同期比4.5%増）、販売管理費が92百万円（前年同期比10.0%増）となりました。

その結果、当第１四半期連結累計期間の営業利益は20百万円（前年同期比61.1%減）、経常利益は18百万円（前年同期比65.8%減）、四半期純利益は11百万円（前年同期比63.6%減）となりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。

(医療アシスタンス事業)

主力事業である海外旅行保険付帯サービスにつきましては、外部環境は良好とは言えない中、アシスタンスサービス提供数が順調に推移しました。サービス提供体制に関してましては、タイセンターの拡張により東南アジア地域におけるサービス品質の強化を図りました。また、東京センターとの強固な相互バックアップ体制を構築したことにより、リスク分散を図ることができました。

今後の収益の柱として位置付けている国際医療事業分野につきましては、海外からの受入患者数は順調に推移しております。また、患者受入以外にも、中東やアジア諸国に対する医療輸出関連のプロジェクトに参加し、アブダビ首長国とは医療提携に関する基本合意に至りました。

この結果、医療アシスタンス事業の売上高は457百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益は64百万円（前年同期比33.1%減）となりました。

(ライフアシスタンス事業)

既存顧客の契約を更新するとともに、新規業務も開始され、順調に推移しております。

この結果、ライフアシスタンス事業の売上高は91百万円（前年同期比7.9%増）、営業利益は30百万円（前年同期比10.4%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第１四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ279百万円増加し、1,332百万円となりました。主な増減要因としては、流動資産では現金及び預金の増加83百万円、売掛金の増加111百万円、立替金の増加129百万円がありました。

負債につきましては、立替金の確保、納税資金の準備のため市中金融機関からの借入を実施したことにより、前連結会計年度末に比べ253百万円増加し、748百万円となりました。主な増減要因としては、流動負債では短期借入金の増加210百万円、固定負債では長期借入金の増加74百万円がありました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ26百万円増加し、584百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上等により利益剰余金等が9百万円増加したこと、円安の影響により為替換算調整勘定が13百万円増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間の業績につきましては、概ね計画どおり推移しております。

しかしながら、円安の進行は、当社海外コストの直接的増加要因であり、したがって、当社業績に影響を及ぼす可能性があります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成25年１月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更が、当第１四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	423,048	506,262
売掛金	122,782	234,076
仕掛品	54,523	―
立替金	300,834	430,766
その他	48,105	49,062
貸倒引当金	△1,569	△2,444
流動資産合計	947,724	1,217,724
固定資産		
有形固定資産	46,031	56,202
無形固定資産	24,878	25,055
投資その他の資産	33,993	33,279
固定資産合計	104,903	114,537
資産合計	1,052,628	1,332,262
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,314	3,378
短期借入金	40,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	53,400	36,672
1年内償還予定の社債	33,200	16,500
未払法人税等	43,538	8,780
前受収益	147,729	162,262
賞与引当金	―	22,564
その他	164,642	164,660
流動負債合計	485,825	664,818
固定負債		
長期借入金	8,300	82,472
その他	754	829
固定負債合計	9,054	83,301
負債合計	494,879	748,119

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年３月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	289,983	291,483
資本剰余金	215,983	217,483
利益剰余金	54,443	64,361
自己株式	－	△113
株主資本合計	560,410	573,215
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△2,662	10,928
その他の包括利益累計額合計	△2,662	10,928
純資産合計	557,748	584,143
負債純資産合計	1,052,628	1,332,262

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年３月31日）
売上高	553,787	548,268
売上原価	415,797	434,632
売上総利益	137,989	113,636
販売費及び一般管理費	84,260	92,716
営業利益	53,728	20,920
営業外収益		
受取利息	53	80
助成金収入	504	14
為替差益	225	－
その他	44	3
営業外収益合計	827	98
営業外費用		
支払利息	1,269	639
為替差損	－	1,313
持分法による投資損失	－	723
その他	133	167
営業外費用合計	1,402	2,844
経常利益	53,153	18,174
特別損失		
固定資産除却損	－	0
固定資産売却損	8	0
特別損失合計	8	0
税金等調整前四半期純利益	53,145	18,174
法人税等	21,360	6,604
少数株主損益調整前四半期純利益	31,784	11,570
四半期純利益	31,784	11,570

(四半期連結包括利益計算書)
(第１四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第１四半期連結累計期間 (自　平成24年１月１日 至　平成24年３月31日)	当第１四半期連結累計期間 (自　平成25年１月１日 至　平成25年３月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	31,784	11,570
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	6,751	12,922
持分法適用会社に対する持分相当額	－	667
その他の包括利益合計	6,751	13,590
四半期包括利益	38,536	25,160
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38,536	25,160
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
Ⅰ 前第１四半期連結累計期間（自 平成24年１月１日 至 平成24年３月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１．	四半期連結損益計算書計上額（注）２．
	医療アシスタンス事業	ライフアシスタンス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	469,351	84,435	553,787	－	553,787
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	469,351	84,435	553,787	－	553,787
セグメント利益	95,974	27,363	123,337	△69,608	53,728

（注）１．セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
（固定資産に係る重要な減損損失）
該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）
該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）
該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成25年１月１日　至　平成25年３月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１．	四半期連結損益計算書計上額（注）２．
	医療アシスタンス事業	ライフアシスタンス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	457,166	91,101	548,268	－	548,268
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	457,166	91,101	548,268	－	548,268
セグメント利益	64,229	30,222	94,451	△73,531	20,920

（注）１．セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。